

(様式3)

会議の開催結果について

1 会議名	河内長野市立休日急病診療所運営委員会
2 開催日時	平成30年1月16日(火) 午後2時00分から午後3時00分まで
3 開催場所	河内長野市立休日急病診療所 2階 集団指導室
4 会議の概要	(1) 患者統計資料報告について (2) 使用薬品について ① 単価契約分 ② 単価契約削除・追加一覧 (3) 障害児(者) 歯科診療事業の実施状況について (4) その他
5 公開・非公開の別 (理由)	公開
6 傍聴人数	0名
7 問い合わせ先	(担当課名) 保健福祉部 健康推進課 (内線 147)
8 その他	

*同一の会議が1週間以内に複数回開催された場合は、まとめて記入できるものとする。

平成29年度河内長野市立休日急病診療所 運営委員会 会議議事録

○日 時 平成30年1月16日（火）午後2時00分から3時00分まで

○場 所 河内長野市立休日急病診療所 2階 集団指導室

〈案件〉

（1）患者統計資料報告について

- ① 月別患者数
- ② 転送患者数・年末年始患者数
- ③ 市内、市外別患者数
- ④ 年齢別患者数・医師判断
- ⑤ 診療日数、患者数
- ⑥ インフルエンザ患者数

（2）使用薬品について

- ① 単価契約分
- ② 単価契約削除・追加

（3）障害児（者）歯科診療事業の実施状況について

- ① 患者統計資料
- ② 年齢別患者数

（4）その他

〈出席者〉

- 外山 佳子（休日急病診療所管理医師）
中林 才治（河内長野市医師会を代表する者）
大谷 明久（河内長野市医師会を代表する者）
森川 栄司（河内長野市医師会を代表する者）
西川 義公（河内長野市歯科医師会を代表する者）
谷 英樹（河内長野市歯科医師会を代表する者）
築瀬 裕彦（河内長野市薬剤師会を代表する者）
船多 大（河内長野市薬剤師会を代表する者）
丹羽 実（河内長野市議会を代表する者）
浦山 宣之（河内長野市議会を代表する者）

(1) 患者統計資料報告について

① 月別患者数について

平成 29 年度（12 月末まで）患者数は 879 人、診療日数 89 日、1 日平均 9.9 人、内訳は内科 784 人、その他（皮膚科、耳鼻科に該当する場合）1 人、歯科 94 人

② 転送患者数・年末年始患者数について

平成 29 年度（12 月末まで）は 21 件、平成 28 年度は年間で 21 件。

年末年始について今年度は、昨年度に比べ、内科で 23 人の増加、トータルで 23 人の増加となった。

③ 市内・市外別患者数について

患者数 879 人の内、90.6%が市内患者

④ 年齢別患者数・医師判断について

30 歳代が全体の 17.7%、20 歳代が 15.9%、40 歳代が 14.6%、60 歳代が 14.0%となっている。

医師判断については、受診者の 77.9%が「本日の受診がのぞましかった」、15.0%が「翌日でもよかった」、7.1%が「前日に受診すべきだった」となっている。

⑤ 診療日数、患者数等について

1 日平均の患者数について、平成 27 年度は 13.8 人、平成 28 年度は 14.0 人、平成 29 年度は 9.9 人（12 月末まで）

近隣の市町村については、隣接する富田林市、大阪狭山市、千早赤阪村からの患者が多く、また、他府県の患者については、5 月の連休、年末年始の帰省の際に病気にかかれ、休日急病診療所を利用される患者が多い。

⑥ インフルエンザ患者数について

平成 29 年度の 12 月末までの受診者について、インフルエンザ A 型が 45 人、インフルエンザ B 型が 28 人。簡易検査は、A 型 45 人、B 型 28 人、検査結果陰性 175 人の計 248 人に実施した。

(丹羽委員)

学級閉鎖はどうなっていますか。

(事務局)

年が明けてから、川上小学校で 2 クラスの学級閉鎖、高向小学校で 1 学年の学年閉鎖、三日市小学校で 1 クラスの学級閉鎖、美加の台小学校で 1 クラスの学級閉鎖となっております。

(浦山委員)

医師の判断について、どういう風に分けているのか。

(事務局)

当日の医師に①本日の受診が望ましかった②翌日でもよかった③前日に他の医療機関で受診すべきだったの3つの中から判断をしていただき統計にしたものです。

(2) 使用薬品について

(事務局)

① 単価契約分について

平成30年度の休日急病診療所の使用薬剤として単価契約(案)の薬剤は144品目。

1番～2番は共通分、3番～95番は薬局分、96番～107番は処置室分、108番～133番は薬局追加分、134番～144番は処置室追加分。

② 単価契約削除・追加について

処置室削除・追加分については、看護師の意見を基に作成。

(船多委員)

今回大幅な見直しを行った。

薬局削除分は、単価契約表に載っているが実在庫がない分。薬局追加分は、単価契約表に載っていないが実在庫がある分(これからも必要である分)。廃棄薬リストと併せて見ていただき、検討いただきたい。

(築瀬委員)

プルゼニド12mgについて、2017.4と2016.6に廃棄しているが、ロット期限が1年以内であると考えられる。業者に対して新薬等特殊な薬品以外は、1年半くらいの期限があるものを頼んでも良いと思う。

(事務局)

今後納品時にロット期限が1年半あるか確認する。

1年半未満の薬品については、薬剤師会に相談する。

(3) 障害児(者) 歯科診療事業の実施状況について

① 患者統計資料について

平成29年度の1日当たりの患者数は13.5人。

平成29年度(12月末まで)の患者数は500名、500名のうち302名(60.4%)が市内の方である。

② 年齢別患者数について

平成29年度は受診者の22.4%が40歳代の方、22.0%が30歳代の方、次に20.0%が10歳代の方となっている。

③ 松原市の脱退について

松原市は平成 28 年度以降、現在においても患者数が 0 人となっていることから、南河内圏域障害児（者）歯科診療事業の枠組からの離脱届が出されている。1 月下旬に開催予定の南河内圏域障害児（者）歯科診療運営委員会において協議され、承認されれば平成 30 年度からは 8 市町村で引き続き運営することとなる。

(4) その他

(事務局)

休日急病診療所歯科の診療時間に関する歯科医師会との協議内容について報告。

①歯科診療所内でのポスター掲示などを継続していただく②市広報紙に掲載している休診歯科の市民に対する周知方法の改善等を行い、今年 6 月を目途に患者数の状況を確認する。そのうえで、10 月からの休診歯科の診療時間のあり方について、歯科医師会と最終的な調整を行う。結果についてはまた報告する。

(船多委員)

医師、歯科医師からの薬品に関する意見を聞くために、意見箱を置きたいと思っている。その意見を基に、運営委員会で検討していきたいと考えているがいかがでしょうか。

(中林委員)

意見箱を置くのはいいが、意見を全て採用すると収集がつかないので、運営委員会で検討していくべきである。

平成 30 年度単価契約について、以下の薬品を削除、変更する。

- ①ネオラミン 3 B 静（削除）
- ②ガスター注射液 20m g（削除）
- ③パファリン 330m g（削除）
- ④ソフラチュール（削除）
- ⑤リレンザ→イナビル（変更）

上記について、全委員了承済み。